

一般社団法人 全国精神保健福祉連絡協議会
講演と座談

こどもと家庭をまもる ーメンタルヘルスは何ができるかー

こども基本法は、こども施策を社会全体で総合的かつ強力に推進していくための包括的な基本法として、令和4年6月に成立し、令和5年4月に施行されました。

誰もがこども時代を経験して大人になります。こどもと家庭を守ることはメンタルヘルスの重要課題です。

一般社団法人 全国精神保健福祉連絡協議会は、各都道府県等の精神保健福祉協会の連携を図るとともに、メンタルヘルスの啓発に取り組んでいます。

2025年度は「こどもと家庭をまもるーメンタルヘルスは何ができるか」をテーマに、基調講演と2つの講演、さらに座談を行います。ぜひご視聴ください。



令和7年

7月18日(金) 14:00-17:00

Zoomウェビナー

主催：一般社団法人 全国精神保健福祉協議会

協力：一般社団法人 TICC
(こころのケガを癒やすコミュニティ事業)

お問合せ：シンポジウム事務局（一般社団法人 TICC内）
jtraumainformed@gmail.com TEL:080-8921-4685

申込締切
7月14日(月)正午



申込はこちら
<https://forms.gle/52SyqQoate7zfJuz5>

こどもと家庭をまもる－メンタルヘルスは何ができるか－

プログラム

14：00 開会のあいさつ 竹島正 一般社団法人 全国精神保健福祉協議会会長	
第 1 部	14：10 基調講演 こどもと家庭をまもる－こども家庭庁の考えていること 山下護 こども家庭庁支援局総務課長 1997年厚生省入省。2024年7月から、こども家庭庁支援局総務課長兼自殺対策室長。これまで、年金制度や健康保険制度の改革に従事。2008年から在タイ日本国大使館一等書記官。2016年からモンゴル国社会保険庁政策顧問。
	14：40 休憩
	14：50 メンタルヘルスは何ができるか －大学精神医学講座の取り組み 根本隆洋 東邦大学医学部精神神経医学講座・社会実装精神医学講座 教授 1995年 慶應義塾大学医学部卒業。慶應義塾大学病院精神・神経科、国立千葉病院神経科、厚生協会大泉病院勤務を経て、2004年 慶應義塾大学助教。2008-2009年 Geffen School of Medicine at UCLA客員研究員。2009年 東邦大学医学部精神神経医学講座准教授、2021年 同講座教授、2023年 社会実装精神医学講座併任。日本精神保健・予防学会理事長、日本社会精神医学会理事、日本精神神経学会代議員、IEPA Early Intervention in Mental Health, Executive Group Member。専門は社会精神医学、予防精神医学、認知神経科学。
第 2 部	15：20 メンタルヘルスは何ができるか －トラウマインフォームドな取り組み 大岡由佳 武庫川女子大学心理・社会福祉学部教授 関西大学社会学部卒業後、民間精神科病院勤務を経て2003年より久留米大学医学部精神神経科学教室において精神保健福祉士として勤務。帝塚山大学心理福祉学部の助手、講師を務めた後、2010年より武庫川女子大学に着任し、現在に至る。ポートランド州立大学地域研究所（TIO：Trauma Informed Oregon）招聘研究員。専門は精神保健福祉学。一般社団法人TICC（こころのケガを癒やすコミュニティ事業）共同代表。
	15：50 座談 座長 竹島正 [指定討論] 高瀬顕功 大正大学 地域創生学部 公共政策学科准教授 1982年生まれ。大正大学大学院文学研究 科博士後期課程修了。博士（文学）。ペンシルベニア大学客員研究員、上智大学グリーンケア研究所研究員を経て現職。専門は宗教社会学。宗教者の社会参加に関心をもち、高齢者ケアにおける宗教者の関与の可能性、地域資源としての寺社・教会の役割などを研究する。東京山谷の生活困窮者支援団体「ひとさじの会」の代表として実践にもかかわる。
16：50 閉会のあいさつ 竹島正	